



五中だより

令和 4 年 7 月 7 日
小平市立小平第五中学校
校長 伊藤 克行
小平市小川町 1 - 7 9 8

「生きる力」って？

校長 伊藤 克行

先日、大学生の海外留学のお世話をしている事務局の方とお話する機会がありました。この方はご自身も帰国子女で英語も堪能であるため、留学に関する事務的な手続きだけでなく、学生が留学に当たり不安に思っていることを聞いたり、アドバイスをしたり、担当学生と関わりを持ってきたとおっしゃっていました。

今までたくさんの留学の世話をきて、多くの学生さんとのやりとりや、実際の留学中に起きたハプニングなど興味深いお話を聞かせてもらいました。その中で大変印象に残ったことがあります。

留学後の学生の多くに一番強く感じる成果は、語学を学んできた成果ではないそうです。「それでは一番強く感じる成果はどんなことなのですか。」と尋ねると、「言葉が思うように通じず、助けてくれる人もいない海外という環境でなんとかやりきったという自信を得て日本に帰ってくること」なのだそうです。

このような経験を通じて得た自信はとても大きく、留学を経験した学生たちは卒業後の就職先などで起きるどんな大変なトラブルも、あの留学したときの不安な状況に比べれば、必ずなんとかできると思えるようになるそうです。そしてお話くださったその留学担当者の方にとって、学生たちが得た自信が何より嬉しいとおっしゃっていました。

どんな困難も必ず乗り越えられると思える自信はまさに生きていくための大切な力です。そしてこの「生きる力」は生徒の皆さんに身につけてほしいとされている力の一つです。

「生きる力」を身につけたいと思っても、その方法はなかなか見つからないように思います。そして今回のお話のように語学を学びたいと思って留学したことが、結果として「生きる力」をつけることにつながっているということを実感しました。

中学生の皆さんが自分のやりたいこととして取り組んでいる様々なことが、自分では予期しない力をつけていくことにつながっているのかもしれません。

まもなく 42 日間という長い夏休みを迎えます。夏休みまでのこの期間にこの夏、何に挑戦するか皆さんもぜひ考えてみてください。

